

# 貿易摩擦で企業収益悪化の懸念、本日はOPEC総会、週末はトルコ大統領選

## マーケットの動き: NYダウが8日続落、イタリアの政治不安が再び意識される

◆NYダウは8日続落。ドイツの自動車大手ダイムラーが貿易摩擦を理由に今年の利益見通しを下方修正したことから、今後の企業収益悪化懸念が意識された。またイタリアでユーロ懐疑派が議会の重要ポストに指名されたことや6月のフィラデルフィア連銀景況指数が19.9と予想(29.0)を下回ったことも嫌気された。

## 今後の注目点: OPEC総会での協調減産出口戦略、24日のトルコ大統領選

◆半年に一度のOPEC総会が本日開催。サウジアラビアは日量60万バレルの増産を提案しているが、高値にある原油価格を下落させる意図はないとみられ、緩やかな協調減産の出口戦略が採られると考えられる。6月24日のトルコ大統領選は混戦状態にあり、決選投票(7月8日)まで不透明感が続くと思われる。(永峯)

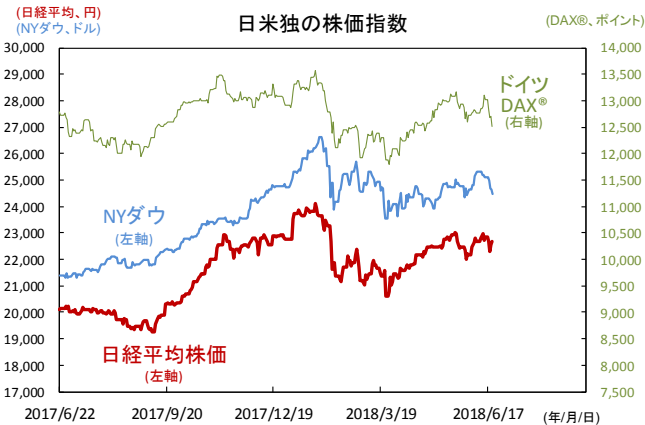
## 株式・長期金利・為替相場

|               | 主要株価指数    |  |           | 長期金利: 10年国債利回り(%) |        |        |
|---------------|-----------|--|-----------|-------------------|--------|--------|
|               | 日経平均株価    | NYダウ                                       | ドイツDAX*   | 日本                | 米国     | ドイツ    |
| 前々営業日 (6月20日) | 22,555.43 | 24,657.80                                  | 12,695.16 | 0.035             | 2.940  | 0.377  |
| 前営業日 (6月21日)  | 22,693.04 | 24,461.70                                  | 12,511.91 | 0.035             | 2.898  | 0.335  |
| 差             | 137.61    | ▲196.10                                    | ▲183.25   | 0.000             | ▲0.042 | ▲0.042 |
| CME日経平均先物     | 22,390.00 | : 米国時間6月21日(日本時間翌日早朝)時点、Bloombergによる期近物データ |           |                   |        |        |

|               | 主要通貨為替相場 |        |        | その他為替相場(対円) |          |         |
|---------------|----------|--------|--------|-------------|----------|---------|
|               | ドル円      | ユーロドル  | ユーロ円   | 豪ドル         | ブラジル・レアル | インド・ルピー |
| 前々営業日 (6月20日) | 110.36   | 1.1572 | 127.72 | 81.31       | 29.25    | 1.621   |
| 前営業日 (6月21日)  | 109.99   | 1.1604 | 127.64 | 81.16       | 29.18    | 1.617   |
| 差             | ▲0.37    | 0.0032 | ▲0.08  | ▲0.15       | ▲0.07    | ▲0.004  |

注) 株価指数の単位は、日経平均株価: 円、NYダウ: ドル、ドイツDAX: ポイント。CME: シカゴ・マーカンタイル取引所。CME日経平均先物は円建て契約で、単位: ポイント。表中の数値は作成時点の数値であり、掲載時点の数値とは一致しない場合があります。前日は原数値の比較であり、表記の数値とは四捨五入の関係で一致しない場合があります。本資料は、作成時点でBloombergにおける情報が更新されていない場合、数値を記載できないことがあり、その場合、「#N/A」と表示しています。また、取引所が休場であっても、Bloombergにおいて数値が掲載されている場合は、当該数値を記載していることがあります。出所) Bloombergより当社経済調査室作成

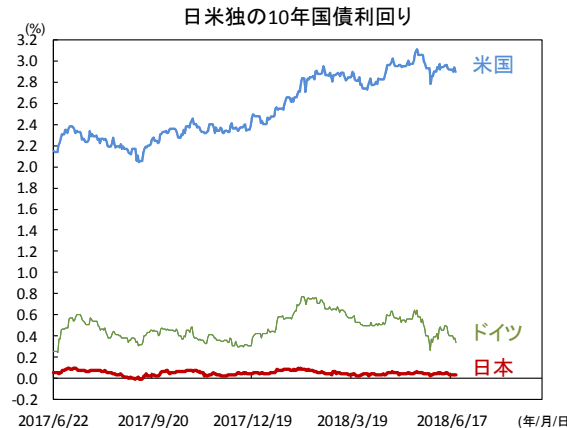
### 【株式】主要国の株価指数



●日経平均は続伸。取引時間にドル円が110.5円を抜けて円安が進行。6月第2週の売買動向では、海外投資家が2週連続で買い越し(第1週205億円、第2週317億円)。

注1) 上記3図の直近値は2018年6月21日

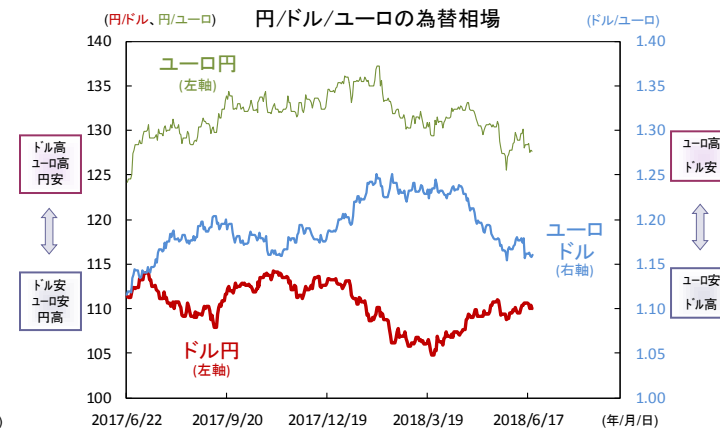
### 【金利】主要国の10年国債利回り



●米10年債利回りは株安を背景に2.9%割れ。英中銀は政策金利を据え置いたが、利上げを主張する委員が2名から3名に増加。次回8月2日の会合で利上げ期待が高まった。

注2) Bloombergで情報が更新されていない場合は、使用可能な直近の営業日の値を表示

### 【為替】主要通貨の直物為替相場



●ドル円は110円割れ。メキシコは7.75%へ利上げをし、通貨は対ドルで0.24%上昇。新興国通貨はアルゼンチンが上昇する一方、インドネシアが下落するなどまちまち。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

### 本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJ国際投信戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJ国際投信が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

### 本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。  
「DAX®」は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会